

皆さんの視点や感覚を司法に

知っておこう！裁判員制度

です。

国民の皆さんが刑事裁判に参加することにより、皆さんの視点や感覚が裁判に反映されることとなります。また、裁判が身近で分かりやすいものとなり、司法に対する皆さんの信頼が高まることも期待されています。

裁判員制度とは

裁判員制度とは、個別の事件ごとに国民の中から選ばれた6人の裁判員が刑事裁判に参加し、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを3人の裁判官と一緒に決める制度

重大な事件が対象に

裁判員制度の対象となるのは、地方裁判所で行われる刑事裁判のうち、皆さんの関心が高い次のような重大な事件の裁判に限

られます。

- ・人を殺した事件
- ・強盗が人にけがをさせたり死亡させたりした事件
- ・人にけがをさせ、死亡させた事件
- ・ひどく酒に酔った状態で自動車運転して人をひき、死亡させた事件
- ・人が住んでいる家に放火した事件
- ・身代金を取る目的で人を誘拐した事件
- ・子供に食事を与えず放置して死亡させた事件

候補者は抽選で選出

毎年1回、衆議院議員選挙人名簿に登録された人の中から、くじで翌年の裁判員候補者が選ばれます。

裁判員は、この候補者の名簿の中から、1つの事件ごとに裁判所で行われる手続きによって選任されます。

なお、具体的な裁判員の選任の方法は上図のとおりです。

3つの仕事をします

①公判に出席します

裁判員に選ばれたら、裁判官と一緒に刑事事件の法廷（公判）に出席します。公判では、証拠書類を取り調べるほか、証人や被告人に対する質問が行われま

裁判員に選ばれるまで

裁判員候補者名簿を作成

翌年の裁判員候補者となる人をくじで選び、候補者名簿が作られます。候補者となった人には通知書と調査票が送られます。この調査票により明らかに裁判員になることができない人などは裁判所に呼ばれることはありません。

事件ごとにくじで裁判員候補者が選ばれます

事件ごとに、裁判員候補者名簿の中からその事件の裁判員候補者を選びます。その際、裁判所に行く日時、裁判に必要な日数などをお知らせします。

候補者の中から裁判員を選ぶ手続きが行われます

裁判長から、辞退希望がある場合などの理由について質問されます。裁判員になれない理由がある人や辞退が認められた人は候補者から除外されます。

裁判員が決定

事件ごとに裁判員6人が選ばれます。

5月21日、裁判員制度がスタートしました。裁判員制度は、国民の中から選ばれた人が裁判員になり、刑事裁判に参加する制度です。今号では、制度の内容や、どのように裁判員が選ばれ裁判に参加するのかなどについてお知らせします。